

新型コロナウイルスが、世界で蔓延しつつある状況に対して、国際 IC 協会・インターナショナル評議委員会より次の文書が発信されております。

このような地球規模での危機に対して、IC メンバーである私たちには IC の価値に基づく責任ある行動が求められています。

皆様、是非ご一読いただきたいと思います。

なお、原文の日本語訳は会員の中島信子氏のご尽力によります。

世界の MRA/IC の友人へ

国際 IC 協会インターナショナル評議委員会からのメッセージ(2020年3月15日)

このお知らせは今、多くの国でパニック状態となっている新型コロナウイルス(COVID-19)の影響に対して警告を発するものです。私たちは今、かつてない程の脅威に直面しており、多くの国では今後更なる悪化が予想されています。どうすれば良いのでしょうか。

手洗いの徹底、集団を避ける、体調が悪ければ自己隔離する(家で過ごす)などさまざまな情報を得てこの感染を予防したり、遅らせたりしています。

この危機を乗り越えるにはどうすれば良いか、その情報やアイデアを人に知らせるといふプロアクティブな行動をとりましょう。確かに医療専門家の言葉にも留意せねばなりません、専門家の知識だけでは十分ではありません。全員の人々が今、一体感を持ち全員の献身が必要とされています。

今、私たちは単に感染症と闘っているだけではありません。同時に広がっている脅威とも戦っています。それは、ウイルスとの闘いと、もう一つは、国の指導者や機関ですらこの危機に対処することが出来ない、という脅威です。私たちはこのパニックを少しでも鎮めるため、自分たちで出来る何かをしよう、そして事実に基づ

づく、片寄らない責任ある行動をとりましょう。

ホームレスのような弱い立場の人々に手を差し延べましょう。どの国であれ医療従事者をサポートしましょう。彼らこそこの危機の最も過酷な局面を担っている人々です。彼らの士気を高め、連帯意識を持ち、特に隔離医療現場にくぎ付けの人、年配の人々などに心を寄せましょう。彼らを訪問することは不可能なことです、電話やオンラインの方法で交信はできます。励ましの言葉、思いやりのある言葉で勇気づけてあげましょう。心温まることや、思いを手紙で出しましょう。

一堂に会したイベントができない今、私たち一人一人は多分寂しい気持ちになっているかもしれません。そんな状況は私たちに自分自身のより深い部分に気付かせるチャンスになるかもしれません。自分を振り返り今後、個人として、また IC の一員として自分の進む道にそれを反映させるチャンスになるのではないのでしょうか。

このチャンスを活かして何か新しいものを造るのです。人生で発見したことを書いてみたり、新しい歌作りやスケッチ、小説などを書いたり、絵を描くこと、写真技術の腕を更に磨いたり、外国語に挑戦したり...もしかしたら自分のチェンジのストーリーをシェアする時の話し方を発見したりするかもしれません。

私たちの生活とコミュニティーの中心に IC の価値と存在が今ほど求められる時はないのではないのでしょうか。

皆様への思いと祈りをこめて、

モニール・ベルタイファ
国際 IC 協会インターナショナル評議委員会副会長



IC ニュース NEWS
Vol.25

公益社団法人 国際IC日本協会

発行年月日 2020年4月25日
発行所 公益社団法人 国際IC日本協会
〒160-0004 東京都新宿区四谷4-28-20
バシ・エテルネル206号
TEL:03-6273-1428 FAX 03-6273-1429
E-Mail:info@iofc.jp HP:http://iofc.jp
<International lofc>HP: www.iofc.org

頒価 1部 100円

心を一つに 会長 矢野 弘典

コロナ感染症が世界中で猛威を振るい、各国ともに懸命に対策を講じています。いずれ治療薬が開発され、発生源や感染経路などの正体は明らかになるでしょうが、今は爆発的な勢いを止めるための緊急措置をとるしかありません。日本でも緊急事態宣言が全国に及び、外出自粛、在宅勤務、休業要請などが行われています。

こうした中で、IC(MRA)はどう対処すればよいのか。事態が収まるまでは、次のことが欠かせないと私は考えています。

- 協会の役員・会員は、心を一つにして対処する。
- 一市民として、国・都府県の要請に応える。
- 会合は必要最小限とし、テレワークを活用する。
- 国際連携を深め、情報共有や共同行動に努める。

ここで最も大事なことは、「心を一つにする」ことです。IC協会には、職業や立場、出身地、年齢や国籍も異なる方々が、IC精神を共有し、それ

を自らの生活の中で実践し、ひろく社会に普及しようという尊い使命感を持って集まっておられます。世に得がたい団体です。世の中が抜け出す道を模索して闘っている時にこそ、私たちは次の飛躍に備え、役員と会員が「心を一つに、小異を捨てて大同につく」必要が大きいと思います。

「朝の来ない夜はない」と申します。ご家族の一人、職業人、一市民として、希望をもって難局を乗り切って参りましょう。



第9回定時会員総会報告 副会長・専務理事 足立 憲昭

新型コロナウイルス(Covid-19)の感染拡大が心配される中、3月14日(土)10:30より第9回定時総会が東京都江東区の有明教育芸術短期大学で開催された。正会員数124名のところ、議決権行使書による参加者74名、総会出席者19名、総参加者数93名で、総会は有効に成立した。

総会は、参加者のマスク着用、会場入り口のアルコール消毒剤の設置、会場となった教室のテーブルは、一人おきに着席できるようにした。また、当日は冷たい雨が降っていたが、総会前は窓を開けて換気に努めた。当初のスケジュールでは、午前中に会員総会を行って、午後は、チャリティイベントを開催する予定であったが、新型コロナウイルス(Covid-19)のクラスター感染を防止するために、イベントは秋に開催されることになった。しかしながらもし会場を四谷の協会事務所に

していたとすると、密集・密閉・密接の「3つの密」が重なり、高齢の参加者にとって非常に危険な状態となっていたと思われる。今回は、外部の広い会場を借りたことで、厳しい環境下のなかでも延期(又は中止)せずに開催できたと考え、当会場を手配された皆様には心より感謝を申し上げます。

第9回定時会員総会は、10:30の開会宣言、静かな時間を経て、会長挨拶があったのち、矢野会長の議長就任となった。次に議事録署名人指名があり、石川理事、大隈理事の2名が指名された。



事務局からのお知らせ

● 2020年度行事 予定

この先の行事日程は流動的ではありますが、現時点では以下の通り予定しております。
8月24日～30日 日韓学生討論会 及び 東北アジア青少年フォーラム(於:ソウル)
9月27日 「学校訪問を支援する会」主催のチャリティー・イベント(於:有明教育芸術短期大学)
10月24日～25日 第42回国際フォーラム(於:川崎市国際交流センター)
来年の定時総会は、2021年3月14日の予定です(会場未定)。
なお、兼松理事からの記事(今号3ページ)の通り、今年のスイス・コーの会議は中止となっておりますのでご注意ください。

● 事務局からのお願い

コロナウィルス感染防止のため、事務局員が事務所に不在となる場合がございます。皆様には、ご不便をおかけしますが、なにとぞご理解いただきますようお願い申し上げます。また、会員相互の感染防止のため、当面の間会員の皆様も事務所へお立ち寄りになることは、出来るだけお控えください。併せてお願い申し上げます。

10:45より決議事項に入り、第1号議案は議長
の指名により専務理事から事業報告並びに貸
借対照表などの説明のち、監事からの監査報告
が行われた。続いて参加された会員からの質問と
担当理事から応答があったのち、第1号議案「第
8期事業報告書の報告並びに貸借対照表、正味財
産増減計算書、附属明細書、及び財産目録等承認
の件」は原案通り承認された。

第2号議案は、今回の選挙管理委員長の長野清
志氏、選挙管理委員の中島信子氏、林圭子氏の3
名により作成された「役員立候補の結果のご報
告」の内容が参加者に説明された。1月6日(月)
の締め切り日までに、選挙管理委員会あてに届
いた理事及び監事の立候補者は、自薦・他薦の理事
7名、自薦の監事3名、理事会推薦の理事3名と
なっており、理事立候補者及び監事立候補者は共
に定数以内であったので候補者は全員当選と
なり、選挙・投票は行わないことが説明された。
続いて参加された会員からの質問と応答があっ
たのち、第2号議案「理事及び監事選任の件」は提
案通り承認された。

なお、新理事に堀口満智子氏、新監事に田中章
博氏(前理事)が就任した。また、理事(名誉会長)
の橋本徹氏は今回をもって退任された。

さらに、報告事項「第9期(令和2年1月1日

～令和2年12月31日)事業計画書、正味財産増
減計算予算書の報告」について専務理事から説明
が行われた。続いて参加された会員からの質問と
応答があったが、その内容は、本年度のイベント
が新型コロナウイルス(Covid-19)の影響を受け
て、5月の学校訪問プログラムや8月の東北アジ
アフォーラムの開催の方向性や、企業賛助会員様
の経営環境が大変厳しくなること等、活発で真摯
な意見交換が行われた。

最後に、静かな時間をもって総会は終了した。

なお、総会後の臨時理事会にて、会長に矢野弘
典氏、副会長兼専務理事に足立憲昭が選定され
た。

新理事、監事は以下のとおり。

■理事:

矢野 弘典(会長)、
足立 憲昭(副会長兼専務理事)
石川 勝一、大隈 尚子、兼松 恵、木村 清隆、
成 豪哲、田口ヤス子、藤田 幸久、堀口 満智子
(理事 10名)

■監事:

佐谷 隆一、田中 章博、松井 保幸(監事 3名)



写真提供:川勝 鋼太郎氏

本年度東北アジア青少年フォーラムについて

理事 成 豪哲



現在、韓国では、感
染病の予防及び管理
に関する法律等に基
づく厳格な隔離措置
と検査実施により、
新型コロナウイルス
の感染者数が減少傾
向にあり、例年通り
フォーラムを開催す
る方向で調整が進ん
でおります。但し、現

時点で韓国へ入国するにあたり、14日間の施
設又は自宅での隔離措置を受けることとなっ
ておりますので、当該措置が解除される時期を注
視する必要があります。

本年度フォーラムの概要は、次の通りであり
ますが、本年度のフォーラムに関する正式な参

加募集は追って当協会ホームページでご案内す
る予定です。

第17回東北アジア青少年フォーラム
期間:2020年8月25日~30日
場所:国際青少年センター(ソウル)、
国立中央青少年修練院(忠清南道天安市)
人数:80名(うち日本参加者25名)
主題:東北アジアの平和と青少年の役割

第6回日韓学生討論会
期間:2020年8月24日~8月25日
場所:国立青少年センター、国会議員会館
主題:日韓の理解促進と協力方策

学校訪問プログラム中止についてのお知らせ

平素よりIC会員の皆様方には学校訪問プロ
グラムへの変わらぬご理解ご協力を賜り、心より
感謝申し上げます。本年も、5月14日より1か
月にわたり東京都・静岡県・茨城県・神奈川県
の学校を訪問する予定で準備を進め、更には、学
校訪問プログラムの支援と会員の皆様との交流を
図るためのイベントの開催も去る3月14日に計
画しておりました。しかしながら、新型コロナウ
イルスの問題が発生し、現在では欧米を始め多
くの国々でも非常事態宣言が出される深刻な状
況となっております。学校訪問プログラム準備
委員会におきましても、「各国から、日本への入
国や、航空機の発着が制限される可能性が高く、
ビザの申請も難しくなりそう」、「来日した青年
たちが感染した場合の対処の準備体制は」、「治
療薬もなくワクチンができるまで延期をすべ

き」などの様々な有益な意見の中で、今年5月の
実施は難しいであろうとの結論に至りました。
そのような学校訪問プログラム準備委員会の議
論を基に、去る3月14日のIC理事会にて、本年
の中止が正式に決定されました。誠に残念では
ありますが、改めて来年の実施を目指し、本年は
このプログラムについて再度見直す機会にあて
たいと思います。

尚、前述の学校訪問プログラムを支援する会
のイベントも、9月27日(日)に延期いたしまし
ましたが、状況によっては、再延期となる可能性も
ございます。この件につきましては、改めてご案内
させていただきます。

学校訪問プログラム・オフィサー 長野 清志
担当理事 木村 清隆・田口 ヤス子

コー国際会議中止のお知らせ

理事 兼松 恵

コロナ感染防止のため、2020年夏のコー国際会議をはじめ、海外での国際IC会議は中止となっ
ております。

なお、世界各国ではオンラインで静かな時間とシェアリングとを共有する機会を設けております。
インターナショナル I of C の HP(www.iofc.org)をご覧ください。